

# 討 論

本会議最終日に予算特別委員会の審査報告を受け、議案に対して意見を述べ、賛同を求めたものです。

日本共産党は、一般会計予算 国民健康保険事業特別会計予算 自転車競走事業特別会計予算 職員定数条例の一部改正 保健所使用料及び手数料条例の一部改正 図書館条例の一部改正の6議案について

今回の議案の中には、市立桔梗保育園の民営化に関する議案があり、公立保育園民営化に反対するという立場から、一般会計予算職員定数条例の改正に反対する。

国民健康保険料については、限度額に達している世帯以外の保険料は、料率がアップし、値上げとなっており、市民に負担を強いている。

# 意見書

第1回定例会で議員提案された意見書は、次の9件です。

中小企業対策の充実・強化に関する意見書  
地域における雇用・就業対策の拡充強化を求める意見書  
「子どもの権利条約」に基づいた子どもの権利保障を求める意見書  
所得税等の定率減税縮減・廃止に反対する意見書  
政治資金規正・透明化推進を求める意見書  
発達障害児(者)に対する支援促進を求める意見書  
サッカーくじ制度の根本的見直しを求める意見書  
NPT(核不拡散条約)再検討会議成功に関する

# 決 議

第1回定例会では、次の決議が全会派共同で提案され、可決しました。

**函館の地域経済を守り、駅前・大門地区および各商店街の衰退を招かない決議**  
函館市の経済状況は、公共投資や個人消費の低迷が続き、いまだ厳しい状況から脱することができず、地域の購買力も毎年前年比を下回る状況が続いている。  
また、函館市は他都市と違い、一つの街に都心商店街の駅前・大門地区、新都心商店街を形成する本町・五稜郭・梁川地区、美原地区、湯川地区のほか、いくつかの商店街が分散しながら商業活動を行っている。  
そして、まさしくその商店街の核施設として、ダイエー系列のスーパーが存在している。  
とりわけ、五稜郭地区、湯川地区の店舗は、その規模から地域商店街になくはない施設であり、中でも函館駅前に立地しているダイエー系列の棒二森屋は、100年以上市民に親しまれている老舗商業施設であり、昨年度新しくなった駅舎を含めた中心市街地の核施設として、欠かすことのできないものであるとともに、昨年、着工が決定した北海道新幹線や、国際水産・海洋都市構想に基づく各種施策を推進する地域として、さらには中核都市としての駅前の顔となる重要な核施設である。  
そのような中、産業再生機構はダイエーの再建に乗り出し、再建支援企業として丸紅を中心としたスポンサーが決まったが、その再生シナリオの中で、中心市街地の核商業施設である棒二森屋、ダイエー五稜郭店、そして湯川店のほか、市内にある12店舗を含め道内に展開している19店舗にもその影響が及ぼうとしている。  
この度の再建策の展開によっては、函館市経済に与える影響、さらには都心商店街のイメージを損なう甚大な影響が想定され、市民が期待する中心市街地は崩壊へと進むことになる。  
よって函館市議会は、函館市の地域経済を守り、市民と密着した商業施設の維持継続を求めるとともに、とりわけ駅前・大門地区の衰退を招かないよう、棒二森屋の存続を強く求めるものである。  
以上、決議する。  
平成17年3月14日  
函館市議会



# 人事案件

固定資産評価審査委員会  
委員の選任の同意  
高田健二さん  
佐藤紀子さん  
前田幸三さん  
吉田浩さん  
寺西さん  
人権擁護委員候補者の推薦

# 第1回 市議会臨時会

第1回臨時会は2月9日に招集され、2月14日までの6日間の会期で開催しました。

本臨時会で提案された議案は、「保育所設置条例の一部を改正する条例の廃止について」の1件です。

この議案は、平成16年第3回定例会において可決された、平成17年度からの保育園民営化に関する規定を整備した「保育所設置条例の一部改正」に反対する住民からの直接請求により提案されたもので、請求代表者の意見陳述などを行い、反対多数で否決されました。

議会の傍聴をお待ちしています  
次回定例会は6月中旬の予定です。  
ぜひ、お越しください。

# 今 対する認識等

質疑 今回の住民直接請求に対する認識と直接請求に至った原因について、どう考えているのか伺いたい。

答弁 桔梗保育園の民営化に係る条例等については、昨年の9月定例会で十分議論され、可決されたところであり、これらの経過を考えると、今回の直接請求は非常に残念に思う。  
また、直接請求に至った原因については、国の基準等に対する独自の見解を持たれる方や公立保育園の公的役割を主張し、民営化そのものに反対の方等を中心としたとされている。

# 桔 梗保育園の

質疑 民間へ移管後の桔梗保育園の保育内容については、どのようになるのか。  
答弁 児童の精神的負担軽減等のため、従前の保育内容などの引き継ぎに関する保護者の要望に最大限配慮し、現在の保育内容や行事



桔梗保育園

については、移管先法人と市、保護者が協議の上、民営化後も大きな変化がないようにしていきたいと考えている。

# 移 管後保育士の

質疑 移管先法人の保育士の配置数で、これまでの保育を保障できるのか。  
答弁 保育士の配置数については、基本的に移管先法人の考え方により配置数が決定されるが、移管先法人の経営努力や工夫、ゼロ歳児に係る市からの支援等により、国の最低基準を一定程度超えた保育士が配置されることになり、保育内容の継承については、十分に果たされると考えている。

# 討 論

保育所設置条例の一部改正の廃止に対し、次のとおり、3会派が反対・賛成の意見を述べました。

**反対** 民主・市民ネットは、限られた財源の中で、今回の民営化により生み出された財源の効果的運用により、市全体の保育環境を向上させ、公民格差を是正するとともに、次世代育成支援、子育て支援全般に資することが必要である。  
また、ゼロ歳児への保育士配置を1名多くする予算措置や保護者を含めた評価・検証システムの確立等により、民営化に伴う保護者の不安感も解消されるとして、反対の討論を行いました。  
公明党は、費用対効果の面からも民営化した方が有利であり、現在の公民格差の是正が必要であることや特別保育の実施状況を考慮しても民間の方が多様性に富んだサービスを提供でき

また、民営化により生じた財源で保育園、幼稚園通所者に限らず、全ての子育て家庭への支援策を充実し

議案採決結果 第1回臨時会  
結果は議案にそれぞれ表示  
=賛成少数で否決

条例の廃止	1件
保育所設置条例の一部を改正する条例の廃止	
反対	民主・市民ネット、はこだて市民クラブ、市民自由クラブ、公明党、南かやべ議員団、恵山議員団、といグループ、榎法華クラブ、無所属(2名)

この問題は単に保育園民営化の問題だけでなく、市政の民主的な運営に関わる重大問題であり、函館市政を民主的な軌道に戻すためにも、誤った決定を白紙に戻すべきであると賛成の討論を行いました。

**賛成** 日本共産党は、保育所設置条例の一部改正は、度重なる保護者の反対の声を無視して議案が提案されたことで、住民意志と相容れない状況が生まれ、直接請求が起こされたものである。